
GlobalFlow5 1.20R00

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2008年11月28日

製品情報

=====
バージョン : Ver. 1.20R00

=== 変更内容 ===

=====
※GlobalDoc5のご利用が必須の変更内容には、項目本文の末尾に「※」を付加して
います。

機能拡張

=====
■Web アプリケーション

- ・StraForm-X 連携オプション Ver. 1.5 に対応しました。
- ・StraForm-X で作成された書類を印刷するときに、「書類名」、「添付ファイル一覧」、「処理履歴」、「注釈」の情報が印刷できるようになりました。
- ・書類の経路タブにある「次の回付先」で宛先を変更した場合、システム履歴の「プロセス情報の変更」に処理履歴を表示するようになりました。
- ・独自タグ<GFLOW-APPROVALACTIVITY>で、承認アクティビティの内容をクリアできるようになりました。

■サーバーツール

- ・移行ツールで、有効期限内の代理者だけを移行できるようになりました。

□仕様変更

■Web アプリケーション

- ・ 回付中/終了書類一覧の「現対応者」欄の表示形式を、「ユーザー名(現アクティビティ名)/(呼び戻し先アクティビティ名)」から「ユーザー名(現アクティビティ名)」に変更しました。
- ・ 回付先選択画面のウインドウサイズを大きくしました。
- ・ 新規起案のテンプレート名一覧に、再起案の説明を表示するように変更しました。
- ・ 有効期限が切れたテンプレートを使用している起案前の書類を参照・削除できるようになりました。

□不具合修正

■Web アプリケーション

- ・ 添付ファイルの表示に ActiveX を使用する環境で、添付ファイルのアップロード中に帳票の内容を変更できる不具合を修正しました。
- ・ CSV 一括出力で、書類名重複エラー、保存先サイズオーバーなどのエラーが発生した場合に、ゴミデータが残っていた不具合を修正しました。※
- ・ 代理者が起案した場合に、Doc 保存時の通知メールが代理委託者にしか送信されない不具合を修正しました。※
- ・ 独自タグ<GFLOW-GROUP-LIST-SCOPE>を使用している場合に、下書きからの起案、または否認、呼び戻しで起案者まで戻された書類を再度起案すると、エラーが発生する不具合を修正しました。
- ・ 分岐条件に数値を使用すると、分岐処理が正しく行われない場合がある不具合を修正しました。
- ・ 自動承認処理されたアクティビティの「次の回付先」が未設定の場合、「承認者が存在しない場合の処理」が“エラーとする”に設定されていても、エラーにならない場合がある不具合を修正しました。

- ・アクティビティの処理をバックグラウンドで行う設定の場合、承認アクティビティの前にバックグラウンドで処理されるアクティビティが存在すると、承認依頼メールの通知履歴のアクティビティ名が別のアクティビティになる不具合を修正しました。
- ・フォルダ一覧画面、グループ一覧画面で、[再取得]ボタンを連続してクリックすると、一覧が正しく表示されない場合がある不具合を修正しました。※
- ・フォルダ一覧画面でフォルダ名の検索を行い、[再取得]ボタンをクリックし配下のフォルダを取得しても、配下のフォルダがあるのに「+」が表示されない不具合を修正しました。※
- ・フォルダ一覧画面でフォルダ名の検索を行い、配下のフォルダを取得すると、再度同じ条件で検索が実行される場合がある不具合を修正しました。※
- ・ブックマークに登録しているフォルダと同じフォルダ配下にあるフォルダをブックマークに登録していると、次を取得してもフォルダが表示されない場合がある不具合を修正しました。※
- ・添付ファイルの表示に ActiveX を利用しない環境で、起案時に添付ファイルを追加した場合、添付ファイルのリストが崩れて表示される不具合を修正しました。
- ・添付ファイルの表示に ActiveX を利用しない環境で、テンプレートをインポートした場合、インポート先のテンプレートに添付していたファイルが消える不具合を修正しました。
- ・Firefox 2 を利用している環境で注釈を 200 文字入力した場合、「パラメータエラーが発生しました。」のエラーメッセージが表示される不具合を修正しました。
- ・StraForm-X で作成された書類で、キーワード連携している<SELECT>タグに値が設定されていない場合、「本文帳票の取得に失敗しました。」のエラーメッセージが表示される不具合を修正しました。
- ・StraForm-X で作成された書類で、キーワード連携しているセレクトボックスの項目値が 2 重に表示される場合がある不具合を修正しました。
- ・以下の条件をすべて満たす場合に、AND 分岐ゲートウェイと AND 結合ゲートウェイの間にあるメール送信アクティビティの実行時にエラーが発生する不具合を修正しました。
 - ・AND 分岐ゲートウェイと AND 結合ゲートウェイの間の別ルート上に承認アクティビティがある
 - ・メール送信アクティビティの次の承認アクティビティは AND 結合ゲートウェイの先にある
 - ・メール送信アクティビティの次の承認アクティビティは承認者が不正である

- 書類のキーワード連携で、数値型キーワードが設定されている場合、値に小数点が含まれると“0”で登録される不具合を修正しました。※
- システム環境設定で、「バックグラウンド処理を行うか」が“行う”に設定されている場合、承認アクティビティと承認アクティビティの間に自動承認が含まれると、承認依頼通知メールの「依頼者」情報が空白になる不具合を修正しました。
- 分岐アクティビティと結合アクティビティをまたがって書類を呼び戻した場合、通知メールが処理ユーザーに送信されない不具合を修正しました。
- 書類停滞時に送信される督促メールの「依頼者名」が、現承認者の名前で表示される不具合を修正しました。
- 書類メニュー、管理メニューのカテゴリー一覧をリフレッシュしたときに、メモリー使用量が増加し続ける不具合を修正しました。
- システム環境設定の「エラーで停滞しているアクティビティの自動処理」が“時刻指定”の場合、時間どおりに処理されない不具合を修正しました。
- 独自タグ<GFLOW-GROUP-LIST-SCOPE>の項目を CSV 出力する設定で、項目の値が空のままの場合、エラーが発生する不具合を修正しました。
- Web サーバーを複数使用している環境の場合、システム環境設定で「バックグラウンド処理を行うか」が“行う”に設定されていると、Web サーバー再起動時の処理が正しく実行されない不具合を修正しました。
- 帳票簡易作成ツールで項目の「表示位置」が“標準”以外に設定されている場合、アーカイブ形式で保存された書類の本文で、コメントも「表示位置」の設定が影響して表示される不具合を修正しました。
- アーカイブ形式で保存された書類の履歴項目「本来の宛先ユーザー名」が、2行で表示される不具合を修正しました。
- システム管理メニューを開いて何も操作せずに[閉じる]ボタンをクリックしても、「編集集中の内容が破棄されてしまいますが、よろしいですか？」のメッセージが表示される不具合を修正しました。
- 添付ファイルの表示に ActiveX を使用する環境で、添付ファイルのアップロードを一度中断したあとに再度アップロードすると、「添付ファイルが処理できる状態でないため、エラーとなりました。」のエラーメッセージが表示されて処理できない不具合を修正しました。

- ・使用言語を「日本語」以外に設定している場合、「CSV一括出力」画面からカレンダーを開くと、カレンダー画面が日本語で表示される不具合を修正しました。

■サーバーツール

- ・書類が使用しているテンプレートの「保存日数」が“起案後”で日数指定されている場合、期限切れデータ削除ツールを実行したときに、保存期限が終了していても削除されない不具合を修正しました。

=====

※GlobalFlow5 Ver. 1.10R00 以前のバージョンをご利用の場合は、データベースのバージョンアップが必要です。
データベースのバージョンアップに関しては「GlobalFlow5 導入・設定マニュアル」の「5-4-2. データベースのバージョンアップ」を参照してください。